

石川県：自立・分散型電源とEV活用による能登の創造的復興支援事業



事業計画の特徴

- 震災の経験から、「石川県創造的復興プラン」（令和6年6月）を踏まえ、**のと里山空港**に太陽光発電設備、蓄電池及びEVを導入し、**防災拠点として機能強化**を図るとともに、本事業を足がかりに再エネ100%の**カーボンニュートラルエアポート化**を目指す。
- **道の駅**に太陽光発電設備、蓄電池型充放電設備を導入し、**災害時にEVを充電可能な拠点として活用**するとともに、グリーンドライブ環境を整備することで、地域の環境価値向上を図る。
- **個人向け太陽光の導入に際して、余剰電力を重要伝統的建造物群保存地区に供給する「いしかわカーボンニュートラルバンク制度」を活用**することで、県民参加型の地域脱炭素化を推進する。併せて、個人向け蓄電池導入の支援もすることで、**レジリエンスの向上**を図る。
※個人・事業者向け太陽光発電設備等の補助について、先行地域又は重点対策加速化事業に採択されている県内団体は対象外。

事業計画の概要（民間） 再エネ：6,000kW

| 取組（個人） | 規模 |
|------------|---|
| 太陽光発電設備の導入 | <ul style="list-style-type: none"> • 1,200件 • 6,000kW |
| 蓄電池の導入 | <ul style="list-style-type: none"> • 220件 • 2,200kWh |

事業計画の概要（公共） 再エネ：2,560kW

| 取組 | 規模 |
|-----------------------|---|
| 道の駅等へ太陽光発電設備の導入（PPA等） | <ul style="list-style-type: none"> • 14件 • 2,560kW |
| 蓄電池型充放電設備の導入 | <ul style="list-style-type: none"> • 14件 • 5,012kWh |
| EVの導入 | <ul style="list-style-type: none"> • 20台 |

事業計画の効果・費用

| 再エネ導入 | CO2削減 | 事業費 | 交付金額 | 計画期間 |
|---------|--------------|------|------|----------------------|
| 8,560kW | 70,343 t-CO2 | 27億円 | 14億円 | 令和6年度 ～ 令和11年度 |

取組のイメージ

